

もがみに帰るヒント集



最上地域の総人口は山形県のわずか7%にも満たない小さな地域。最上地域の人々は、昔ながらの知恵を活かし厳しい気候を受け入れ、その風土とともに暮らしを営んできました。そんな小さな街に暮らし、働き、子どもとはぐくみ、未来へつなぐための人や情報など、最上地域の今をご紹介します。

問い合わせ先：最上地域政策研究所（最上総合支庁総務課連携支援室内） TEL：0233-29-1240



Enjoying a Life
in Mogami

最上にくらす

厳しい気候と風土の中で
営む、暮らしのあれこれ
ご紹介。

山形県人の収入と支出

【実収入】

全国平均の105%、東京都の96%
収入：山形県(最上地域)は、東京都に比べると賃金の平均は低いです。しかし、3世代同居率が高く、子育て支援が充実していることで、子育てしながら働いている女性がたくさんいます。そのため、夫婦共働きの世帯が多く、世帯の収入を比較すると、大きな違いはありません。

【勤労者世帯の平均(2人以上世帯)】

家計項目	山形県	東京都	全国
実収入	51.2万	53.1万	48.4万
実支出	41万	43.9万	42万

総務省統計局「平成26年度全国消費実態調査」

【消費支出】

全国平均の97%、東京都の93%
支出：総じて支出は少ない項目のほうが多いです。しかし、生活するうえで最上地域では必要不可欠である自動車に関する支出と、冬期間は豪雪地帯であるため、暖房などにかかる支出が多くなっています。

【食費・居住費・教育費】

家計項目	山形県	東京都
食費	73,410円	83,474円
居住費	13,931円	30,683円
教育費	13,300円	26,755円
光熱・水道費	27,514円	19,963円
交通費	2,826円	12,608円
自動車等関係費	34,839円	16,449円

総務省統計局「平成26年度全国消費実態調査」

持ち家率

全国4位 山形県 75.0%

1位 富山県…78.1%
2位 秋田県…78% 3位 福井県…75.7%

一般世帯当たりの人員

全国1位

山形県 2.78人

昭和55年調査から8回連続で全国1位
総務省統計局「平成27年度全国消費実態調査」

3世代同居率

全国1位

山形県 17.8人

3世代同居世帯は69,751世帯で平成12年の調査以来、4回連続の全国1位！その中でも最上地域は24.7%

総務省統計局「平成27年度国勢調査結果」

待機児童

0人

厚生労働省「保育所等関係状況取りまとめ」平成28年4月現在

育児をしている女性(25~44歳)の有業率

全国2位

山形県 72.5人

1位 鳥取県…74.8%
40位 東京都…50% 全国平均…52.4%
総務省統計局「平成24年度就業構造基本調査結果」

住まいの手助け

山形県では住宅ローンの利子の一部を県が負担。耐久性・耐雪性のある県産木材を使用した省エネルギー住宅の建設や、良質な中古住宅の取得を応援しています。

詳しくは「タテッカーナ」で検索！

<http://tatekana.pref.yamagata.jp/>

田舎で結婚出来るの？

15歳から34歳までの有配偶者率は東京都6.6%、最上地域6%と大きく変わりはありません。最上広域婚活実行委員会による出会いの場の提供もあります！※H22 国勢調査より

もがにてい

<http://m-iju.com/>

最上広域婚活実行委員会

<http://love-action.jp/>

近所づきあいが大変そうだけど…

最上地域は都会と比べると、地域のコミュニティが小さく、良く言えば「人と人の距離が近い」と感じます。昔から助け合いの精神が強く、「結い」と呼ばれる共同作業等を通して地域で支え合ってきました。地域行事などへの参加は重荷に感じることもあるかもしれませんが、地域の輪に参加することで、子育てで世帯の方は地域全体で見守って頂いている感覚が持てるかもしれません。

もがみに暮らすインタビュー

千葉県に生まれ、高校を卒業後、関東の飲食店に勤務。当時働いていたお店での出会いにより大きな転機を迎えます。

「15年前だったと思います。友人がはじめた飲食店を手伝うために新庄にきました。当時はお店を繁盛させる事に無我夢中でした」
当時は先のことが何も見えないまま、仕事をこなす日々。それでも、現在の職業へと結びつく出来事が内藤さんをこの地域へと引き寄せていくのです。

「今の仕事をはじめたのも、お店のメニューやチラシなどを全部自分たちで手作りしていた経験からでした」

現在、アートディレクターとして多彩な仕事をしている内藤さん。新庄に来てからの経験から「デザインを仕事にしたい」という想



いが芽生え、独学で技術を高めていきました。そして、この地域で起業という決断をしたのは2007年のこと。「起業した時には、この地域でやって

いこうかなと決めていました」

「縁もゆかりもないこの土地で「暮らすこと」への戸惑いはなかったのでしょうか。

「災害もない、自然も多い。いいところだと思っています。ただ、雪のことはじめ地域や生活のことなど、地元の方は暗黙の了解で分かっているようなことが分からなかったりします」

「シャイな面を持つもがみ地域の人々との関わりは難しいものがありました。それでもこの地域で生業をはじめて丸10年。これからこの地域でやりたいことは、

「最上地域の中小企業では人手不足が大きな問題となっています。この地域で働いている人、これからこの地域で働きたい、住みたいと思っている人と、企業等をつなげる新しい仕組みを作る仕事ができればと、考えています」

「縁が縁をよびこの地域に移り住んだ内藤さんは、次への縁結びへと力を注いでいきます。」



内藤 秀一さん(39)

出身 千葉県・移住先 山形県新庄市

2007年 glassy designを立ち上げ山形県新庄市を拠点にフリーランスとして活動を開始。ブランディングを主としたディレクション・デザインを手掛ける。



各市町村の子育て支援センター

子育てを通して親が抱える不安や負担等、ご相談をお受けします。

1. 子育て等に関する相談への助言・指導
2. 子育てサークル支援、育成
3. 各種子育て講座の開催
4. 地域の子育て関連情報の提供

新庄市
子育て支援センター(こらっせ新庄内)
電話/0233-22-5115 ●開所時間/10時～18時 ●休館日/水曜日

新庄市
新庄保育園子育て支援センター「びよこクラブ」(新庄保育園内)
電話/0233-22-0260 ●開所時間/月～金曜日(祝日を除く)9時30分～11時30分・13時30分～16時30分

子育て支援が充実

最上地域の各市町村では子育て支援に力を入れています。詳しくは各市町村のHPをご覧ください。*各市町村で支援の内容が異なります。

各市町村の子育て支援制度

【新庄市】



【戸沢村】



【最上町】



【舟形町】



【真室川町】



【大蔵村】



【鮭川村】



【金山町】



子育て支援医療

お子さんの医療費(保険診療分)の自己負担額が無料となります。

対象 中学3年生まで…新庄市・最上町・戸沢村
真室川町・大蔵村・鮭川村
18歳まで……………金山町・舟形町

地域で子育て

子どもが健やかに成長でき、安心して子どもを産み育てられるよう、最上地域みんなで子育て応援団サイト

<http://moconet.info/>

もがみで育てるインタビュー

動物が好きで特に馬に関わる仕事から、沖縄や宇都宮など全国を転々とする生活をしてきた扶紀さん。

「きっかけは1年前です。宮城県大崎市の鳴子で自伐型林業に取り組んでいたころ、隣県の金山町にある特定非営利活動法人カムロファーム倶楽部が取り組んでいるホースセラピーに強い関心を持ち、運営母体である認定こども園「めぐたま」に転職を決意。念願のホースセラピーの仕事に従事するため、移住を決めました」

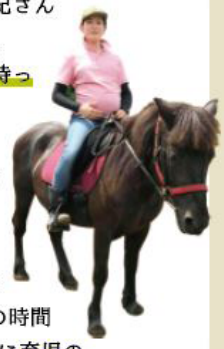
そして同じ時期に、真室川町で工房ストローを主宰している高橋伸一さんと出会い妊娠結婚出産。夫である伸一さん家族との同居がスタートしました。

“いつかは結婚して子どもを授かりたい”と思ってはいましたが、扶紀さん自身が一人っ子だったため、結婚し同居するイメージは持っていなかったといいます。

「義父母はとても優しく、ありがたい存在です。私と赤ちゃんだけではきっと滅入っていたと思います。同居することで子どもをみてもらえて、ちょっとした自分の時間が持てること、そして日常的に育児の相談にのってもらえることは本当にありがたいと感じています。何より、ちょっとしたことでも話を聞いてもらえることが嬉しいです」

はじめの出産、子育てに子どもと1対1の生活を続けていたら、産後うつになっていたかもしれないと。そして、導かれるように真室川町に移り住んだ今。「同居することでメリハリをつけて、仕事と育児に専念することができるのが良い点。やるべきことを分担し、助け合える関係であればいいですね」

自然がいっぱいで空気もいい、子育てするにはとてもいい環境です。と笑顔をこぼす扶紀さん。自分なりの同居の形を模索しながら、この地域での子育てを楽しんでいるようでした。



高橋 扶紀さん(34)

出身 宮城県・移住先 山形県真室川町

1983年宮城県仙台市生まれ。仙台の大学を中退後、全国各地で馬を共通項とした職業に携わってきた。結婚を機に真室川町に移住し、現在は育児休暇を取得し、布おむつでの子育てに奮闘中。



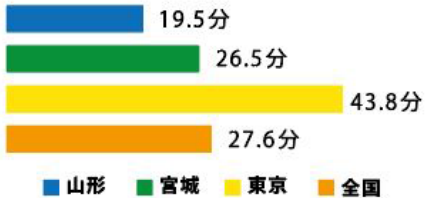
最上ではたらく

印舎で働く場所、環境、人。
職場を取り巻く様々な
情報をあなたに。

通勤時間

山形県 平均19.5分

20分を切る通勤時間! 余裕を持った日々が過ごせます。



※平成25年住宅・土地統計調査による中位数、平成25年10月1日現在

そもそも、最上地域に仕事はあるの？

家族も友達も「ナイ」って言ってるし...

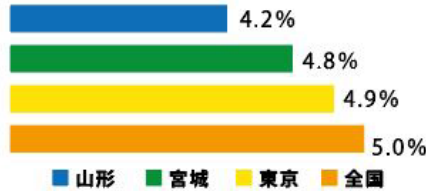
データで見る！ 山形の仕事あれこれ

離職率が低い都道府県

山形県 全国3位

東京20位 宮城16位

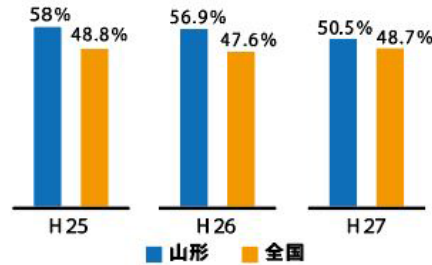
全国的にみても低い離職率、あなたにとっても相性の良い企業があるはず！



※総務省「社会生活指標-都道府県の指標2017」

年休平均取得率

3年連続で全国平均よりも高いんです! 家族や自分の時間を大切に。



※厚生労働省「就労条件総合調査」(平成26年~28年調査分)

「全然ない！」

は思い込みかもしれません。

確かに関東県と比べれば、職種が少ないのも事実です。ハローワークはもちろん、地元から離れていても活用できる情報はあります。

もがみで僅かくインタビュー

協議会の取り組みについて教えてください。「協議会として、会員にメリットを感じてもらえる活動を」ということで、平成28年度から協議会の中に3つの分科会、雇用確保分科会・子育て支援環境分科会・青年分科会を立ち上げ活動しています。

雇用確保分科会では、若い人の雇用確保のため、また最上地域にどのような企業があるのかをまずは知ってもらおうと、学校と行政と協議会で共催・連携し「オーダーメイド工場見学会の案内」を作成しました。学校等の要望に合わせた受け入れ体制を取り、インターンシップや企業訪問の際に活用してもらっています。小学校・中学校・高校のカリキュラムに合わせた工場見学や教員向け・保護者向けの企業訪問をしてもらうことで、まずは地元の企業を知ってもらうことが何よりも大切だと考えています。

子育て支援環境分科会では、団地内保育所の開設に向けて進めています。特に0歳~2歳までの子を預けられる施設が設置される予定です。団地内で働く女性にとって働きやすい職場環境を作るため、アンケートを取りながら従業員目線の取り組みを続けています。

青年分科会では、30歳代~40歳代の子育て世代の会員が各企業から集まり、企業の職場環境改善に向けて意見交換の場を作っています。1つの企業としてはなかなか取り組みにくい課題も協議会全体として取り組むことで実現できることだと感じています。団地内保育施設設置も協議会として取り組んだことで早期実現ができ、自信にもつながりました。若い従業員が自分たちの意見を出し合える場として、有意義な活動ができていると感じています。

最上地域の人口減少に対して、会社の経営者としてまだまだ取り組みが足りないと感じています。ただ見ているだけでは人口流出は止められません。工業団地としても生産人口の確保が一番重要な課題です。若い人の目線で、ここで働きたいと思えるような取り組みを具体的に目に見える形でやっていかなければならない。そして、若者がここに住みたい・残りたいと思える地域づくりを、企業としてできることから取り組んでいきたいと考えています。

新庄中核工業団地立地協議会

立地企業数55社、協議会会員数44社、会員人数1,714人。最上郡内において大規模な工業団地として、多くの企業がある新庄中核工業団地。企業が連携し、人材確保や働きやすい環境の整備を目的とし設立された。

羽賀克広氏
(株)ハザキエシジニア 代表取締役

庄司正人氏
(株)山形メタル 代表取締役



もがみ 仕事の魅力ガイド



UIJターン就職希望者向求人情報 shinjo WORK



山形県Uターン情報センター



やまがたハッピーライフ 情報センター



キャリアカウンセラーの資格を持つ就職相談員が、相談にのってくれます!

- 山形県東京事務所/東京都千代田区平河町二丁目6-3 都道府県会館13階 ●k46G24gC@pref.yamagata.jp
- 03-5212-8996

移住コンシェルジュと就職相談員が、もがみ暮らしの様々な不安に親身になっておこたえます。

- ふるさと回帰支援センター/東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階 ●yamagata-iju@royal.ocn.ne.jp
- 03-6269-9533